

情報交換を通し支援継続 プロオーケストラファンクラブ協 山形で総会開く

日本プロオーケストラファンクラブ協議会(会長・上田文雄札幌市長)の総会が二十三日夜、山形市の山形国際ホテルで開かれ、音楽文化の発展のため、ファンクラブ同士



プロオーケストラファンクラブが抱える現状などについて報告する出席者＝山形市・山形国際ホテル

が情報交換し、引き続きオーケストラを支援していくことを確認した。

同協議会は、日本の経済状況が不安定となる中、プロオーケストラの

収入となる集客を支えていくと、二年前に山形交響楽団の支援組織「山響ファンクラブ」など全国のファンクラブが集まって発足。総会は毎年加盟団体が持ち回りで開くこ

とになっており、昨年は仙台で第一回総会を開催、今回は山形市が会場になった。

この日は山響ファンクラブのほか、北海道、宮城、群馬、石川、愛知、広島から計七団体、約百人が出席。ファンクラブが抱える問題点や解決策について報告、提案した。出席者からは「不況で自治体などからの援助がなくなり、大掛かりなイベントができなくなった」「まだまだ活動体制が未熟」などといった声が出た。山響ファンクラブは「クラブの活動は基本的にボランティアで成り立つ。情報交換を重ね、少しでも多くの人に演奏会に足を運んでもらえるよう、誇りを持って活動することが大切」と提案した。